

ngi group株式会社 事業説明会

本資料に記載されたすべての意見や予測、見通しなどは資料作成時点における入手可能な情報に基づいた弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。また、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

2011.6.23

ngi group株式会社
(東証マザーズ:2497)

目次

1

インターネット市場概況

2

新生ngi group事業概要及び進捗

3

2012.3期 事業戦略

インターネット市場概況

インターネット市場概況

➤ 市場環境について

インターネット業界における変革期

ーインターネットの歴史はプラットフォームの変遷とともにー



スマートフォン
の普及



ソーシャルメディア
の台頭

ビジネスモデルも大きく変化していく

インターネット市場概況

➤ スマートフォンの普及

端末の普及

Android端末 約1億台

AndroidアプリDL数45億回

iPhone端末 約1億台

iTunes登録者数 2億人

広告市場

205億ドル
世界のモバイル広告市場
は約7倍の市場規模へ

33億ドル



2011年

2015年

米Gartner調べ

インターネット市場概況

➤ スマートフォンの普及

スマートフォンの普及台数



■ 2010年度(2010年4月～2011年3月)スマートフォン国内出荷855万台、前年度比約3.7倍に拡大(MM総研5月発表)

■ 2011年第1四半期の世界のスマートフォン販売台数は約9,960万台。5,540万台だった前年同期に比べ2倍近くに急伸。

市場調査分析会社 IDC 発表『Worldwide Quarterly Mobile Phone Tracker』

■ NTTドコモ、2011年度のスマートフォン販売目標を600万台に。前年の約2.4倍(4月28日発表)

世界・国内ともに、2011年は普及がさらに加速する見通し

インターネット市場概況

➤ ソーシャルメディアの台頭

世 界

facebook

ユーザー数 約7億人
世界最大級のSNS

日 本

twitter

ユーザー数約1,500万人
国内でも急速に浸透

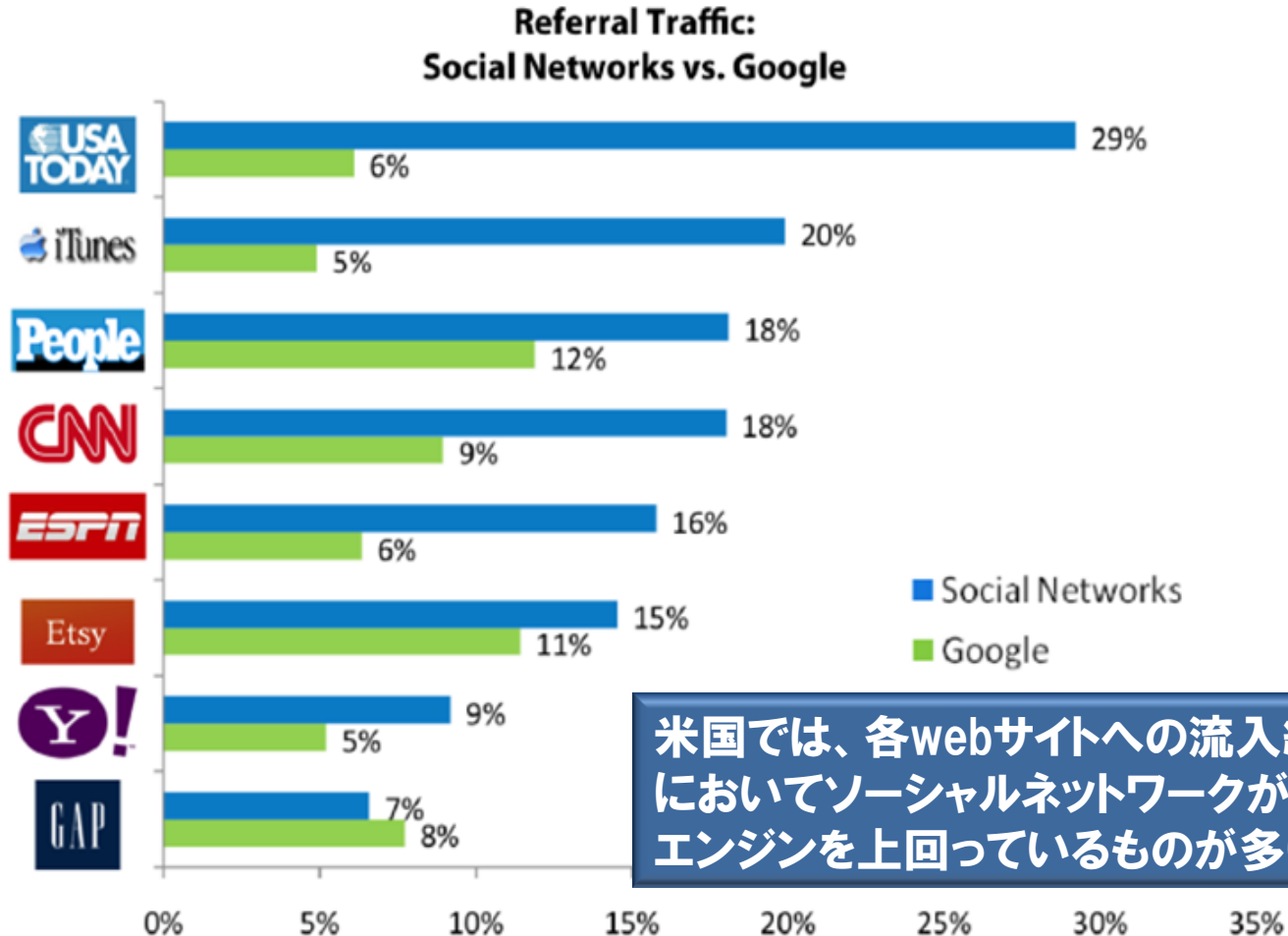
facebook

ユーザー数460万人
2011年に入り150万ユーザー増加



インターネット市場概況

➤ ソーシャルネットワークの普及



米国では、各webサイトへの流入経路においてソーシャルネットワークが検索エンジンを上回っているものが多い

新生ngi group事業概要及び進捗

新生ngi group事業概要及び進捗

- 2010年12月29日にフラクタリストと合併、経営統合を実施



ソーシャルグラフ関連事業

安定的な財務基盤

ネット企業とのネットワーク

モバイル業界の先駆者

広告商材と顧客/媒体基盤

コンテンツ開発能力

統合により両社の強みを生かし、ソーシャルグラフの活用・スマートフォン利用者増加等によるマーケットの市場変革に迅速に対応できる体制に

新生ngi group事業概要及び進捗

➤ 事業ポートフォリオ



新生ngi group事業概要及び進捗

モバイル広告

➤ 自社広告商材の強化

AD-STA(広告配信サービス)

- スマートフォン向けサービスを開始
Android(2011年5月~)
iphone(2011年6月~)

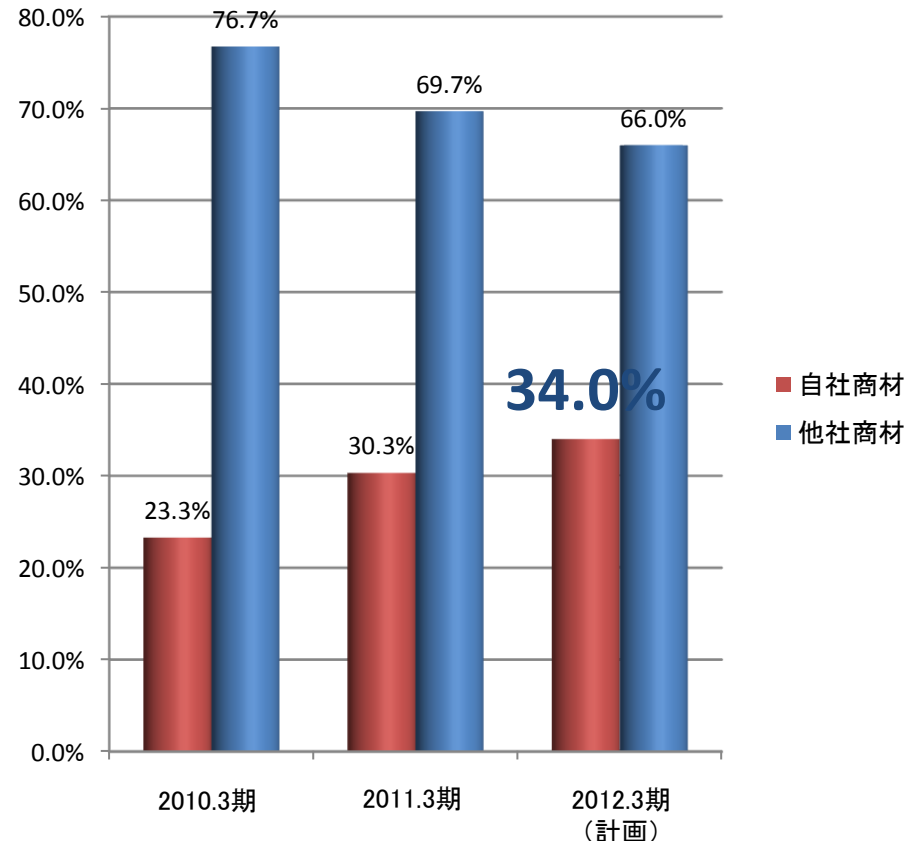


モバイルSEO(検索エンジン誘導)

- 当社ノウハウを集約した戦略的モバイルSEOツール「RISEO」の提供開始
- イーファクターマーケティングの株式取得によるスマートフォン向け対応等強化



広告商材の売上比率推移



アドネットワーク及びSEO等、利益率の高い自社広告商材の比率を向上

新生ngi group事業概要及び進捗

ソーシャルグラフ
マーケティング

➤ ソーシャルグラフマーケティング関連サービス

ngi social connect	ngi social promotion	11page
企業やブログ等のウェブサイト運営者がソーシャルメディアとの連携を簡易に実現するサービス	ソーシャルコネクトのノウハウを活用したソーシャルキャンペーン構築ツール	Facebookページのタブ作成・編集・連携を簡単に実現できるアプリケーション

 ngi social connect



11page



ソーシャルグラフマーケティングツールを積極的に投入し、
当社モバイル広告事業との連携を図り収益化を目指す

新生ngi group事業概要及び進捗

ソーシャルグラフ マーケティング

➤ ソーシャルグラフマーケティング関連サービス（導入サイト）

カフェトーク(Cafetalk)



あっぷりい



JustGivingJapan



ad:tech tokyo



GoodLuck



coneco.net



会社なび



関心空間



&G



iSpot



NetMile



GABA



PRNEWS



SHAREcoto



インヴァスト証券



新生ngi group事業概要及び進捗

アプリ&
コンテンツ

mixi & GREE
プラットフォーム



スマートフォン



投資収益率をコントロールしながら、
ソーシャルメディアを活用したサービスに関する知見とノウハウを蓄積

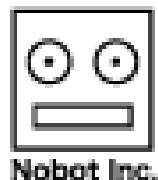
新生ngi group事業概要及び進捗

インベストメント＆
インキュベーション

➤ 主要売却事例



➤ 主要投資先



IPO市場環境に左右されずキャピタルゲインを創出し、
引き続きシード・アーリー投資を実施

新生ngi group事業概要及び進捗

➤ グループ各社の状況

Fringe81	ALTOVISION Creating the best communications
第三者配信エンジン iogous*mark リリース ～ユーザーの広告接触に合わせた 適切な広告露出・レポートが可能に～ 「iogous (イオゴス)」の効果改善結果を発表 ～導入実績150件、クリック率は 通常配信の2倍、獲得コスト半分の案件も～ 	パブリッシング事業開始 ・有料メールマガジン配信サービス 「ビジスパ」 ・プレジデント社と電子書籍分野での 業務提携に合意  Business Spice Spice up your business!
 Mirai Yosoo Co.,Ltd.	
広報支援・プレスリリース配信サービスの「@ Press」、楽天が運営するポータルサイト「Infoseek」 へプレスリリースコンテンツの提供開始  サイバーエージェント・ベンチャーズとスタートアップ企 業向けの支援プログラムを提供開始	NTTインベストメント・パートナーズ株式会社が運営す るファンド及び株式会社エイチアイを引受先とする第 三者割当による増資

2012年3月期 事業戦略

2012年3月期 事業戦略

➤ 戦略骨子① ソーシャル×スマートフォン対応

市場変化を商機として徹底的に攻める

既存広告商材の対応



新規商材の開発

11page

Facebookページのタブ生成・管理ツール

 **ngisocial connect**

既存ウェブサイトとソーシャルメディアの連携ツール

 **ngiソーシャルプロモーション**
ngi social promotion

ソーシャルキャンペーン構築・効果測定ツール

その他新規商材を継続的に投入予定

2012年3月期 事業戦略

➤ 戦略骨子② 自社商材比率の向上とクライアント層の拡大

事業資産を活かし収益力の向上を図る

他社商材
平均利益率 約10%

自社/提携商材
平均利益率 約30~80%

純広告
SEM
その他

BYPASS※1
SEO
AD-STA
NSP※2
NSC※3

ソーシャル
×
スマート



売上比率 69.7%
粗利比率 44.3%

30.3%
55.7%

(2011年3月期)

- ・クライアント企業のソーシャル×スマートへの移行ニーズを商機に
自社商材比率を高め、利益率の向上を目指す
- ・これまでのモバイル公式CP中心の
クライアント構成からナショナルクライアントやその他のPCクライアント
へ顧客層の拡大を図る

※1 BYPASS : 会員登録や購入などの任意の成果に応じて費用が発生するモバイルアフィリエイト広告

※2 NSP : ngi social promotion の略

※3 NSC : ngi social connect の略

2012年3月期 事業戦略

➤ 戦略骨子③ 事業スピードの加速とグローバル展開

将来の事業スケール拡大に向けた取り組み



2012.3期 事業戦略

➤ 2012.3期 連結業績予想

(単位:百万円)

	2011.3期 通期実績	2012.3期 業績予想	増減率 (%)
売上高	5,418	5,370	△0.9
営業利益	311	530	70.2
経常利益	270	480	77.5
当期純利益	181	470	158.4

- ・ 親子上場の解消((株)フラクタリストとの合併)による上場維持費用の削減および組織再編に伴う効率化等により、2012.3期は大幅なコスト削減効果を見込む。
- ・ 2012.3期も引き続き営業投資有価証券の売却を抑制するため、売上高は若干減収となるものの、インターネット関連事業の堅調な伸びとコスト削減効果により、営業利益・経常利益・当期純利益は増益を見込。



インターネットの未来を創る